

下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD) クリニカルパス

様

		治療前日 /	当日治療前(入院) /	当日治療後(入院) /	治療後1日目 /	治療後2日目 /	治療後3日目 /	治療後4日目 /	治療後5日目(退院) /
観察			入院時に体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります 	治療後に体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります 	状態により適宜行います				
		呼吸の状態、腹痛、吐き気、嘔吐、出血、便の性状などの症状を観察をします。(便に血が混じるようであれば流さず看護師に教えてください)何か変わったことがあればお知らせください							
安静		制限がありません	検査後数時間は、 ベッド上で安静にさせていただきます 治療後初めて歩く時は、看護師が 付き添います		制限がありません				
食事		夕食は夜7時までにお召し上 がりがくさい 水分は制限ありません 	* 朝食を摂ることはできません * 水かお茶を飲むことができます	* 食事を摂ることはできません * 水分を摂ることができる時間は 医師に確認し看護師がお伝えします	食事を摂ることはできません 水分は摂ることができます		医師の指示で 昼食より3分粥がでます  その後5分粥、全粥と食上げていきます		
清潔	検査の準備として入浴、洗髪 を しましょう マニキュアはとってください	入浴はできません  化粧は治療前にお取りください 	入浴できません  洗面・歯磨きはできます 	体を拭くことができます。 	便に血が混じらなければ、シャワー浴・入浴ができます 点滴があるため、シャワー浴・入浴を希望される時は看護師に声をかけてください 一時的に点滴をとめて入浴することができます 				
排泄		* 治療前にトイレにいきましょう	* 安静のためベッド上で行っていただきます * 治療時間により尿の管が入る場合があり ます		歩いてトイレに行くことができます  				
診察・処置		入院手続き後に内視鏡室で洗浄剤の 内服を行います 午後、内視鏡室で治療を行います		医師の診察があります					
検査			治療直後、腹部レントゲンがあります 	朝、採血があります 		朝、採血があります 			
薬物療法	点滴	治療前に止血剤・抗生剤の 点滴を開始します 	治療後に止血剤・抗生剤の点滴を行います 腹痛や吐き気が出現した際は症状に応じて、 医師と相談の上、薬を使います		止血剤入りの点滴を常に行います 朝と夕に抗生剤の点滴を行います 		止血剤の入った点滴は3日目～4日目の昼食前まで続 きます		
	内服薬	* 次の薬は、 / から 中止してください () * 外来で案内されている通り に内服してください	* 朝の薬は内服してください ただし、次の薬は中止してください () * 入院時、内服薬はすべて 持参してください	* 常用薬を内服するかどうかは 看護師がお知らせします お知らせするまでは飲まないください					
説明指導		* 看護師より検査の説明があります * 薬剤師から薬の説明があります * 治療の同意書を確認します 治療・鎮静の同意書を持参してください * 眼鏡、コンタクト、時計、ピアス、 義歯、指輪、ネックレス、ヘアピン、 補聴器などの金属類ははずしてください 					* 病院食以外の間食をしないでください 退院までに薬剤師から服薬指導があります		
目標	* 検査の必要性和方法を理 解し、 検査に臨むことができる	* 入院中の予定がわかり、 治療後の注意点が理解できる	* 治療による大きな副作用(出血・穿孔)がなく経過する * 痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるか (痛みの程度は数字の0から10「0:痛みなし 10:想像できる最大の痛み」)を医療者へ伝えることができる * 赤い便、黒い便が出たときにすぐに看護師に報告できる					* 痛みがあるときは、部位や程 度を医療者に伝えることができる * 食事制限を守ることができる * 赤い便、黒い便が出たときに すぐに看護師に報告できる * 退院後の生活の注意点がわ かる	
						* 食事制限を守ることができる			

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2016年9月作成(2020年7月改訂) パス委員会承認 聖隷浜松病院B6病棟